



©Takuma Uematsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

植松琢麿 『nowhere - どこでもないところからの眺め』

会期：2016年10月21日（金）-2016年11月19日（土）
会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206
営業時間：12:00-19:00 定休日：日・月・祝日
レセプションパーティ：10月29日（土）18:00-

2016年10月21日（金）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku にて、植松琢麿の個展「nowhere - どこでもないところからの眺め」を開催いたします。

植松琢麿は、2010年にドイツのGALLERY LohrIにて個展をし、本年10月には千葉市美術館にて展開されるプロジェクトの一人目の作家として個展を開催するなど、国内外で注目を集めています。

身体の物質性と生命との関係をテーマに、人工的なさまざまな素材と自然物を自在に組み合わせたインスタレーションと動物のフォルムを使った造形作品は、一見相反しているけれども、その相互の関係性に見出されるゆるやかな繋がりは、これまでにないイメージを生みだし、生命の新たな可能性を表現してきました。

今回発表するビデオ作品では、映像という時間の要素が生命体と事物に加わり、それらの中で揺れ動く物事の境界に鑑賞者を誘いこみます。人と動物、人工と自然、意識世界と現実世界という境界を往還するなかで、今まで無縁に思われていた物事が網目のように繋がりに、過ぎ去った未来にそうありえたかもしれない世界が提示されます。2年ぶりとなる個展に足をお運びいただければ幸いです。

尚、本展はNADiff Galleryでの個展“space colony”と同時開催となります。ヴァンジ彫刻庭園美術館の森啓輔氏に論稿を寄せていただいた作品集も発売を予定しておりますので、是非こちらも併せてご覧ください。



■作家ステートメント

インスタレーションのような印象をつくりだす今回のビデオ作品は、幼い子どもがコウモリの真似をしながら遊んでいるシーンから始まります。幼い子どもの諸感情のゆるやかな蓄積とともに、鑑賞者は人形から、そこにはないはずの感情を受け取るようになります。そして、場面展開とともに、映像は様々な要素の混合物として展開されていきます。ここでは、映像というフィルターを通すことで、人間と動物、虚構と現実、自然と人工を分かち明確な境界が存在しません。そして時間の経過とともに新たな関係性で結ばれた世界は、意識を越えた感情を呼び起こします。本作品は、意識の主観的な性質は、科学的な客観性の中には還元することができないとしたアメリカの哲学者トマス・ネーゲルのコウモリにとって「コウモリであるとはどのようなことか」という問いから着想を得ています。また、映像における構造は、意識が作る集合体のイメージを自然物に重ね表現した2014年の彫刻作品「platform」と共通する考え方に基づいています。それは意識が自由に泳ぐプラットフォームのような映像作品への挑戦でもあります。

植松 琢磨

■同時開催

植松琢磨 個展 “space colony”

会期：2016年10月21日（金） - 2016年11月20日（日）

会場：NADiff Gallery

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目18-4 NADiff A/P/A/R/T B1F

営業時間 12:00-20:00 定休日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

■作品集出版記念トークイベント

日時：2016年10月29日（土）14:00-15:30

会場：NADiff a/p/a/r/t

植松 琢磨 x 森 啓輔（ヴァンジ彫刻庭園美術館学芸員） x 小林 公（兵庫県立美術館学芸員）

協力：Yumiko Chiba Associates

参加費：無料

定員：40名

*要申込

【お申込み方法】

ご参加を希望される方のお名前、参加日時、お電話番号、ご参加人数を明記の上、下記 Web サイトからご予約ください。お電話でも承っております。

*受信制限をされている方は、NADiff a/p/a/r/t からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

Web: <http://www.nadiff.com/?p=3370#event>

TEL: 03-3446-4977

森 啓輔

1978年三重県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修了。現在、ヴァンジ彫刻庭園美術館学芸員。美術批評、日本近現代美術。主な著書に『Jiro Takamatsu Critical Archive』（共著 [vol.4]、ユミコチバアソシエイツ、2012年）。主な評論・論文に「高松次郎『THE STORY』— 反復および知覚される持続について」（『美術手帖』第14回芸術評論入選、2009年）、「切断される再演— 「以後」としての1978年の彫刻」（『引込線 2013』図録、引込線実行委員会、2013年）など。主な展覧会に「イクムラレイコ PI00N」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2014年）、「菅木志雄」（同、2014-2015年）、「クリスティアーネ・レーア 宙をつつむ」（同、2015年）。

小林 公

1976年生まれ、神奈川県出身。2004年から兵庫県立美術館に学芸員として勤務。これまでに企画・担当した主な展覧会は「安井仲治—僕はこんな美しいものを見た—」（2005）、「山村幸則 手ヂカラ 目ヂカラ 心のチカラ」（2007）、「林勇気展「あること being / something」（2011）、「安井仲治の位置」（2011）、「超・大河原邦男展」（2013）、「ボンビドゥー・センター・コレクション フルーツ・オブ・パッション」（2014年）、「横山裕一 これがそれだがふれてみよ」（2014）など。また、植松琢磨、林勇気、後藤哲也との協同プロジェクト「i want you あなたがほしい」（2013-）にも参加、展覧会のキュレーションやアーティストブックへの寄稿を行う。



■植松琢磨 作品集「chain reaction」

2016年10月29日発売

執筆：森啓輔

デザイン：小沼宏之

仕様：A5判/128頁/全編カラー/和英バイリンガル

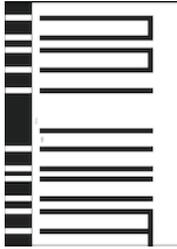
予価：¥2,300（税別）

発行：Yumiko Chiba Associates

*初版限定700部

*ご購入は、全国の書店、本展開催ギャラリー、もしくはYCAオンラインストアにて

<http://ycassociates.thebase.in/>



■「あなたがほしい」
2016年10月発売
編集：植松琢麿、小林公、後藤哲也、林勇気
デザイン：後藤哲也
仕様：A5判/100頁/和英バイリンガル
予価：¥1,800（税別）
発行：オーブレス
*初版限定300部

■その他

さや堂ホールプロジェクト コンタクト・ゾーン vol.1

「植松琢麿 星のみかた」

会期：2016年10月15日（土） - 30日（日）

会場：千葉市美術館1階さや堂ホール

http://www.ccma-net.jp/event_03.html#2016_project

〈アーティストトーク〉

植松琢麿がギャラリートークを行います。

日時：2016年10月30日（日）14:00-（13:30会場予定）

会場：千葉市美術館1階さや堂ホール

*聴講無料

〈対談〉

「アートn宇宙」

日時：2016年10月30日（日）14:30-（13:30会場予定）

会場：千葉市美術館1階さや堂ホール

ゲスト：植松琢麿、羽村太雅（国立天文台 広報普及員/柏の葉サイエンスエデュケーションラボ（KSEL）会長）

進行：畑井恵（千葉市美術館学芸員）

*聴講無料

■作家プロフィール

植松琢麿 Takuma Uematsu

1977年 生まれ。

2000年 関西大学卒業。

大阪在住。

【主な個展】

- 2014 「platform」 Yumiko Chiba Associates viewingroom shinjuku（東京）
- 2012 「Hyper-Cycle」 Yumiko Chiba Associates viewingroom shinjuku（東京）
- 2010 「IMPULSE 22 with Fabian Chiquet」 GALLERY Löhr!（ドイツ）
- 2009 「軌跡の描く森で」 ギャラリーエム（愛知）
- 2008 「珊瑚の森」 hpgrp GALLERY（東京）
- 2006 「αM プロジェクト-生命の部屋-」 ASK?（東京）
- 「Life is a crystal」 Künstler-verein Malkasten（ドイツ）
- 2001 「帰る場所はあるのです」 信濃橋画廊（大阪）

【主なグループ展】

- 2014 はまやしきアートフェスタ 2014「あなたがほしい i want you」 吹田歴史文化まちづくりセンター（大阪）
- 「FLAG ART EXCHANGE OSAKA Dusseldorf-Osaka 報告展「あなたがほしい i want you」
- 大阪府立江之子島文化芸術創造センター（大阪）
- 「JAPON」 聖アンドレ大修道院メイマック現代アートセンター（フランス）
- 2013 「あなたがほしい i want you」 WELTKUNSTZIMMER（ドイツ）
- 「Spektrum」 GALLERY Löhr!（ドイツ）
- 「よっちゃんビエンナーレ 2013」 OZC GALLERY/大阪造形センター（大阪）
- 2009-10 「THE GOD OF THE SMALL THINGS」 casa Masaccio 現代美術センター（イタリア）



- 2009 「神戸ビエンナーレ 2009 招待作家展 LINK-しなやかな逸脱」兵庫県立美術館（兵庫）
「その森は謡う 2nd Family Project」あさご芸術の森美術館（兵庫）
「Arts チャレンジ 2009」愛知芸術文化センター（愛知）
2008-09 「Ancient Futures」ソウル市立美術館（韓国）
2007 「日本現代芸術祭」ヘイリ芸術文化村（韓国）
「ヘイリ アジア青年作家プロジェクト」ヘイリ芸術文化村（韓国）
2006 「Quadriennale 06 - Dusseldorf」GALERIE MAIER-HAHN（ドイツ）
2005 「The 1st Pocheon Asian Art Festival」Pocheon Banwol Art Hall（韓国）
「The Goyang International Sculpture Symposium 2005」高陽市（韓国）
「大阪アートカレイドスコープ OSAKA05」大阪府立現代美術センター（大阪）

【主なその他の活動】

- 2015 「petit h のオブジェたち」東本願寺 涉成園内 閻風亭（京都）
2014 Singapore Art Fair 'Two-men' s show: Nobuhiro Nakanishi, Takuma Uematsu'（シンガポール）
アートフェア東京 2014 G-Plus（国際フォーラム、東京）
銀座メゾンエルメス ウィンドウディスプレイ「新たな世界のために」（東京）
2013 Art Basel Hong Kong 2013 Encounters（Hong Kong Convention and Exhibition Center, 香港）
2011 The 45th Edition of ART COLOGNE, From GALLERY Lohrl（ドイツ）
2009-16 イクコ青山店ウィンドウディスプレイ（東京）
2004 「ベン・パターソンの冒険的大演奏旅行」に出演（ジーベックスタジオ, 兵庫）
2001 「フルクサス裁判ー破壊的ピアノ・パフォーマンスとコンピュータによる」に出演（国立国際美術館, 大阪）

【パブリックコレクション】

高陽市（韓国）、イクココレクション（東京）、高橋コレクション（東京）

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。
画像データに関して、横位置のものもございますので、御依頼等は下記までご連絡下さい。
ユミコチバアソシエイツ 展覧会担当：藤井香菜子 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#316
[Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp [website] www.ycassociates.co.jp
[営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日